【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年５月15日
【会社名】	株式会社フォンツ・ホールディングス
【英訳名】	FONTZ Holdings,Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　小 野 間 史 敏
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂一丁目７番１号
【電話番号】	050－5835－0966
【事務連絡者氏名】	経営企画室 IR/広報担当　丹 藤 昌 彦
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂一丁目７番１号
【電話番号】	050－5835－0966
【事務連絡者氏名】	東京都港区赤坂一丁目７番１号
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目８番16号)

1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第１項及び同条第２項第２号の規定に基づき平成25年４月12日に提出した臨時報告書並びにこれに関し同月15日及び同年５月13日に提出した臨時報告書の訂正報告書の記載事項について、本日付で匿名組合契約を締結したこと等に伴い、提出内容の一部に訂正が発生いたしましたので、これを訂正するため、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

へ 提出会社が取得する手取金の総額並びに使途ごとの内容、金額及び支出予定時期

（ⅱ）本新株予約権の新規発行による手取金の使途ごとの内容、金額及び支出予定時期

行使比率が100%の場合

（注）１.

（b）取得資産の概要

３ 【訂正箇所】

以下のとおり、臨時報告書の本文中の記載を訂正いたします（訂正箇所は下線で示しております。）

へ 提出会社が取得する手取金の総額並びに使途ごとの内容、金額及び支出予定時期

（ⅱ）本新株予約権の新規発行による手取金の使途ごとの内容、金額及び支出予定時期

行使比率が100%の場合

（訂正前）

（前略）

（注）１．RPH社のノウハウを取り込んだリミテッドサービスホテルの開業に向けて、当社が出資する合同会社(SPC)を通じて沖縄県の既存ホテルを取得する予定です。沖縄県の既存ホテル取得費は1,050,000,000円、当該既存ホテル改装費は55,000,000円を予定しており、SPCは、当該既存ホテルの一般管理費として必要な95,000,000円との合計1,200,000,000円を銀行からの借入及び匿名組合出資により調達する予定です。本新株予約権無償割当てによる資金調達が可能な時期が、上記各費用を支払うべき時期より遅くなることが予定されていることから、SPCは、銀行からの借入により530,000,000円を調達するとともに、当初、当社から100,000,000円を、RPH社から570,000,000円を、それぞれ匿名組合出資により調達することを予定しており、行使比率が100%の場合、本新株予約権無償割当てにより調達した資金のうち100,000,000円を当社が出資したSPCへの匿名組合出資により生じた当社の運転資金の不足に、503,782,500円をRPH社からの匿名組合出資の買取に充当する予定です（なお、匿名組合出資の詳細については、下記「募集に関する特別記載事項、６．（２）新たな事業の開始及び信託受益権（固定資産）の取得をご参照ください。）。なお、沖縄県のホテルの取得に関する概要は以下のとおりです。

（訂正後）

（前略）

（注）１．RPH社のノウハウを取り込んだリミテッドサービスホテルの開業に向けて、当社が出資する合同会社(SPC)を通じて沖縄県の既存ホテルを取得する予定です。沖縄県の既存ホテル取得費は1,050,000,000円、当該既存ホテル改装費は55,000,000円を予定しており、SPCは、当該既存ホテルの一般管理費として必要な115,000,000円との合計1,220,000,000円を銀行からの借入及び匿名組合出資により調達する予定です。本新株予約権無償割当てによる資金調達が可能な時期が、上記各費用を支払うべき時期より遅くなることが予定されていることから、SPCは、銀行からの借入により530,000,000円を調達するとともに、当初、当社から100,000,000円を、RPH社から590,000,000円を、それぞれ匿名組合出資により調達することを予定しており、行使比率が100%の場合、本新株予約権無償割当てにより調達した資金のうち100,000,000円を当社が出資したSPCへの匿名組合出資により生じた当社の運転資金の不足に、503,782,500円をRPH社からの匿名組合出資の買取に充当する予定です（なお、匿名組合出資の詳細については、下記「募集に関する特別記載事項、６．（２）新たな事業の開始及び信託受益権（固定資産）の取得をご参照ください。）。なお、沖縄県のホテルの取得に関する概要は以下のとおりです。

(b) 取得資産の概要

（訂正前）

（前略）

③現況	**ビジネスホテルを主なテナントとする賃貸ビル（平成20年６月竣工）。ビジネスホテルは、平成25年７月初旬、「チューンホテル那覇（予定）」として開業予定（客室数117室）。**

（訂正後）

（前略）

③現況	**ビジネスホテルを主なテナントとする賃貸ビル（平成20年６月竣工）。ビジネスホテルは、平成25年８月中（予定）、「チューンホテル那覇（予定）」として開業予定（客室数117室）。**